

2022年10月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ブ ラ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 合 達 明
(コード番号：2424 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 河 合 智 行
(TEL 052-446-5338)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月15日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を開示しております。2022年7月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年7月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況のうち、流通株式時価総額について、基準を充たしておりません。当社は、2027年7月期までに当該基準を充たすために引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況	2021年6月30日時点 (移行基準日時点)	5,231人	25,051単位	13.7億円	43.8%
	2022年7月31日	4,124人	22,021単位	18.8億円	38.5%
上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%
当初の計画に記載した計画期間		—	—	2027年7月期	—
2022年7月31日の適合状況		○	○	×	○

- ※1. 当社の適合状況の推移は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を基に算出を行ったものです。
- ※2. 流通株式時価総額は、流通株式数に日々の株価最終価格の平均値を乗じて算出しておりますが、本年5月～7月の日々の最終価格の平均値は、854.06円です。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2021年12月～2022年7月）

当社は、上場維持基準に適合するための主要要素である株価に影響を与える業績向上や、株式市場から適正な評価を得ることで同基準の適合を目指しております。2022年7月期においては、新型コロナウイルス感染症発生により低下した収益力と、財務の健全性の回復に取り組み、着実な成果は得られていると考えております。今後も引き続き、基本方針に沿った各種取り組みを進めていく方針です。具体的な取り組み状況は以下のとおりです。

（1）基本方針

当社がプライム市場に上場することは、幅広いお客様の信頼獲得や、事業価値向上につながり、持続的な成長と中長期的な企業価値の実現において、不可欠であると考えております。「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」を全国に広めることを企業の存在意義と定め、ドミナント戦略に基づく継続した新規出店などを着実に進め、事業拡大を進めていく考えであります。また、企業認知度の向上と株主還元の在り方を見つめ直し、IR活動の積極的な推進、サステナブル経営への取り組み、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図り、プライム市場上場維持基準への適合を実現します。

（2）取り組み内容

① 継続的な新規出店

2022年7月期は当初の計画通り未出店となりました。今後の新規出店については現時点では未決定となっておりますが、引き続き毎年2店舗の出店を計画し、持続的な成長に向け積極的な投資をおこなってまいります。

② 収益力の向上

2022年7月期においては、売上高は概ね計画通りに推移し、各利益では計画を上回る業績を達成しました。新型コロナによる影響を脱し、収益は着実に回復しており、2023年7月期もさらなる業績の向上を見込んでおります。今後においても、ドレス事業及び写真・映像事業の内製化等の施策を推進し、計画書に沿った成長を実現していきます。

（単位：億円）	2021/7期 （実績）	2022/7期 （計画）	2022/7期 （実績）	2023/7期 （9/13更新計画）
施行件数	2,573件	2,960件	2,902件	3,375件
売上高	93.4	114.2	114.1	132.3
経常利益	5.0	8.0	11.2	11.3
当期利益	1.6	5.1	7.3	7.3

③ 販管費の削減

経常利益率10%を中期的な経営目標として設定し、その実現のため、コロナ禍で取り組んだすべての販管費抑制を継続し、主には主要固定費である広告宣伝費の削減に取り組んでおります。2022年7月期の販管費率は59.5%となり、2021年7月期と比較し、2.4%改善しております。集客面においてコロナ

禍以前の水準に戻っていない影響もあり、広告費率は横ばいとなっておりますが、中期的には同比率を7.5%→6.0%へ低減する取り組みを実現していきます。

④ 株主還元策

今後の利益還元については、中長期的な成長を実現していくための成長投資資金を確保しながら適正な株主還元を実施していくことが重要だと考えております。2022年7月期は、3期振りとなる復配を決定いたしました。今後においても、事業成長に応じて段階的に配当水準の向上に努め、更なる株主価値の提供を目指してまいります。

⑤ 流通株式比率の向上

現在の流通株式比率はプライム市場の基準に適合しております。流通株式時価総額基準への適合については、支配株主の保有比率を段階的に引き下げてまいります。また、2022年7月期においては、自己株式取得によって一時的に流通株式比率を下げられておりますが、流通株式比率向上に向け、今後、公募増資、株式売出、株式分割等の資本政策を実施し、流動性の向上による売買の活性化に取り組みます。

⑥ 積極的なIR活動

株価形成において、投資家の皆様とのコミュニケーション、相互理解が不足していると捉え、より多くの投資家の方々に周知されるように、2022年7月期第二四半期より、代表取締役による決算説明動画配信を四半期ごとに行っております。今後においても継続して取り組んでまいります。

⑦ サステナブル経営への取り組み

当社は、結婚式事業を通してサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。当社は、「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」を経営理念に掲げ、世の中に一つでも多くの「笑いと涙の結婚式」を届けるために、地域に根差し、地域に貢献し、地域と共存しております。当社では2021年11月にサステナビリティチームを発足し、食糧廃棄の削減、電気使用量の削減等の環境課題への取り組みのみならず、従業員が安心して働くことができる職場環境の整備において、社内ポータルサイト上に、社内手続きや福利厚生マップを作成し、業務・手続き効率の改善を図るとともに、従業員に各種制度や福利厚生の内容を分かりやすく提示し、利用しやすい環境を整えております。今後、事業が成長していく段階において、社会のニーズも満たしながら企業活動をおこなってまいります。

⑧ コーポレート・ガバナンスの充実

企業経営の健全性と効率性の確保を通じて株主に還元する利益を最大化するための仕組みや体制の向上を図るため、市場区分の再編に係る改定コーポレート・ガバナンスコード全原則の適用に向け、2023年7月期中の実施を目指しております。2022年10月開催の定時株主総会の招集通知より、各役員の実績・マトリックスの開示を開始しておりますが、現時点において満たしていない原則については、段階的に着手してまいります。

引き続き計画書に基づく取り組みを進め、ステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともより一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

以上